

3. 大学院学生受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

聖心女子大学大学院は、大学の理念に共感するとともに、高度な専門性と学識、研究能力によってグローバル化が進む現代の文化と社会の発展に寄与することを目指し、学術研究への道を志す皆さんに入学していただきたいと願っています。

（1）修士課程・博士前期課程

修士課程・博士前期課程への入学者の受入れにあたっては、次のようなことを重視します。まず、大学院入学以前に、専攻する学問分野についての学士課程修了程度の専門知識と研究・調査能力、論理的で柔軟な思考力・判断力、適切に意見を発信する力を獲得し、大学院での学業に主体的に取り組む姿勢を身につけてください。大学院での研究活動を効果的、計画的に進める上では、自身の研究の目的意識と課題を明確にしておくことも大切です。また、学士課程での学業や社会での活動を通じて、幅広く深い教養や語学力、他者と協働する姿勢、豊かな人間性、高い倫理性を培い、広く人間の生き方やその歴史、多様な社会のあり方に対して深い関心を寄せてください。これらのことは、大学院での学業を現代社会への貢献に結びつける際に重要なことです。学術研究への道を多様な研究関心と背景を持つ皆さんにも開くため、多くの専攻で外国人特別入試、社会人特別入試および長期履修学生制度を設けています。社会や家庭などにおける活動経験を基に、生涯にわたる様々なステージにおいて学問的探究を志す方を積極的に受け入れます。

（2）博士後期課程

博士後期課程の入学者の受入れにあたっては、旺盛な探究心と深い洞察力を備えた信頼できる人格であることに加え、1. 学位授与方針(1)に示す修士課程・博士前期課程修了程度以上の十分な学識と研究能力を備えていることが必要とされます。さらに独自性、発展性のある明確な研究課題があらかじめ設定されており、課題を着実に推進できる明確な研究計画が立てられていることが重視されます。

(2017年10月10日更新)